

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 4 月 1 日

事務事業名		農業経営等資金利子助成事業				事業区分		担当	
政策体系上の位置付け		新規/継続				継続		事務事業No. 050103000822	
総合計画の施策名		単独/補助				補助		所属課 050101	
政策名		0501 農業の振興				主要事業		農林課	
施策名		05 魅力と活力のある産業社会づくり				市長マニフェスト			
基本事業名		01 農業の振興				未来PJ事業		グループ 農政G	
		03 農業の効率化推進				合併建設計画事業			
財務会計上の位置付け		事業期間				単年度繰返し (年度~)			
予算科目		一般会計				資金助成事業			
法令根拠		01 06 01 04 02 00				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
農業者が資金を借入する際に、利子助成を行う事により資金の融通が円滑化に行われ、農業経営の効率的かつ安定化を推進する。	貸付金融機関より補助金交付申請→補助金交付決定→利子補給金の支払→県への補助金の交付申請 貸付金融機関から新規申込の貸付決定→県へ報告

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
貸付金融機関より補助金交付申請→補助金交付決定→利子補給金の支払→県への補助金の交付申請 貸付金融機関から新規申込の貸付決定→県へ報告	利子補助額	円	184.00	114.00	114.00	114.00	114.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
農家	市内農家数	戸	2,975.00	2,975.00	2,975.00	2,975.00	2,975.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
経済的負担が軽減され、意欲向上にもつながる。	利子補給を受けている農業者	人	10.00	9.00	9.00	9.00	9.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	26年度 (実績) 0	27年度 (実績) 0	28年度 (計画) 0	29年度 (目標) 0	30年度 (目標) 0	期間限定総投入量	
			県支出金	千円	92	57	57	57	57		57
			地方債	千円	0	0	0	0	0		0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0		0
			その他	千円	0	0	0	0	0		0
			一般財源	千円	92	57	57	57	57		57
	事業費計 (A)	千円	184	114	114	114	114	114	114		
人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人			
	述へ業務時間	時間	247.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00			
	人件費計 (B)	千円	717	435	435	435	435	435			
トータルコスト (A)+(B)			千円	901	549	549	549	549			

事業費の内訳	27年度事業費 実績 (千円)				28年度事業費 予算 (千円)			
	19 負担金補助及び交付金	114			19 負担金補助及び交付金	114		
	合計	114			合計	114		

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	農業経営等資金利子助成事業	事務事業No.	50103000822	所属課	農林課
-------	---------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？  
 借入金の返済が農業経営にとって大きな負担となる場合があり、農業経営維持安定のため、その利息負担を軽減しようとするために開始された。利率が引き下げられてきている。また、国の補助で賄われ、市の負担がなくなっている。

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？  
 特になし。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	農業経営の改善等に必要資金にかかる利子を補給し、担い手が安定した経営を行えることは、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	農業は生活の安定を確保する上で、最も基本的な産業であることから、資金面で農業担い手を支援することは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	借入金の本質から鑑みて、妥当な利子助成の範囲である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	利子補給がなくなると農業者の負担が大きくなり、現在の利用者に対しては、融資機関との契約であることから廃止することはできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	県と1/2づつ補助をするので廃止することは出来ない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	県の補助要綱で決められているため、市単独で補助率を下げることはできない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	融資を受けている全ての農業者に対し助成しているため、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果																						
	成果優先度評価結果 ⑨																						
	コスト削減優先度評価結果 ⑥																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>